

2026年5月海洋観測結果について

4月27、28日に栽培漁業センターの調査船「おしどり」により海洋観測を以下の表1、図1の調査点で行いました。調査結果については、当センターホームページ（<https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=201810>）と沿海漁協にはファクシミリで通知します。

表1 観測定点

	調査点	海底水深	経度	緯度
赤碕ライン	ST-1	16m	133.41	35.3100
	ST-2	50m	133.40	35.3430
	ST-3	70m	133.40	35.3736
	ST-4	95m	133.40	35.4340
	ST-5	185m	133.40	35.4805
長尾鼻ライン	ST-6	185m	134.00	35.4300
	ST-7	95m	134.00	35.4000
	ST-8	70m	134.00	35.3700
	ST-9	50m	134.00	35.3400
	ST-10	13m	134.00	35.3200

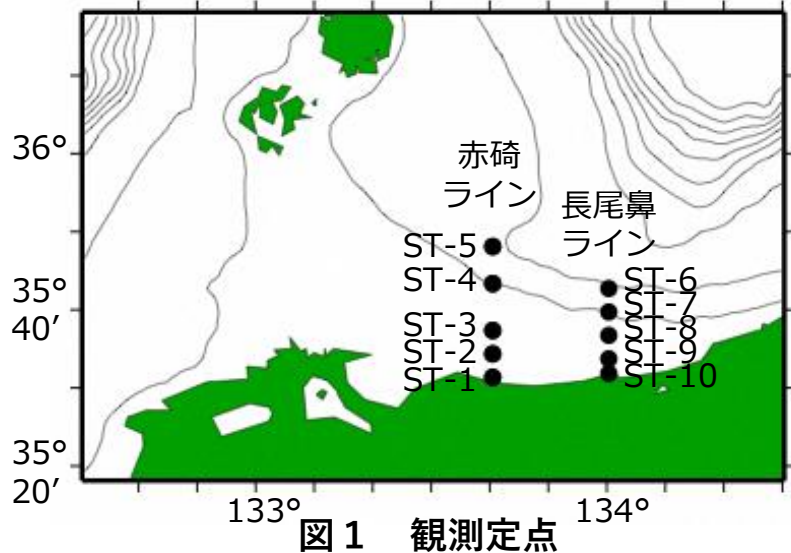


図1 観測定点

【鉛直分布図】

赤碕ライン、長尾鼻ラインともに表面水温は16℃付近に昇温してました。また両地点とも前月より、0.7～2.8℃高く、水深100mまでの水温は13～15℃台でした。

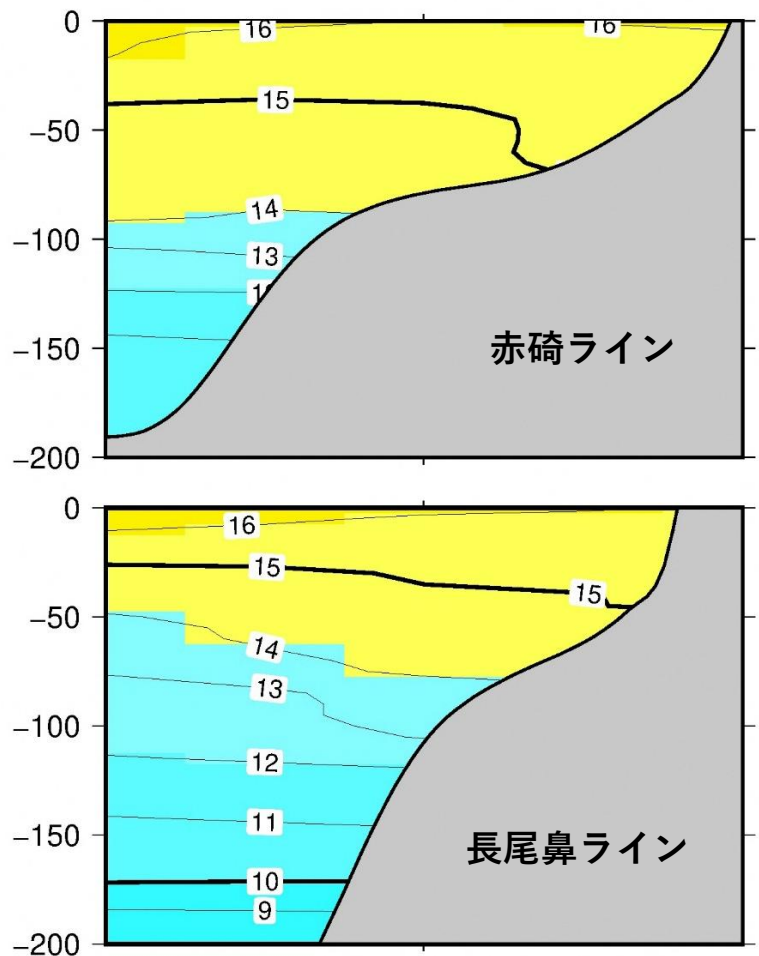


図2 鉛直分布図（海水温の単位：℃）

【水深帯別の比較】

長尾鼻及び赤碕ともに、表面水温は平年より0.5～1.0℃高く推移し、水深30～50mの水温は概ね平年並みでした（表2）。対馬暖流の勢力は平年並みであり（図3）、さらに3月中旬から3月下旬にかけて気温が6℃程度上昇しその後も20℃前後で推移して表層が暖められたこと（図4）が影響していると考えられます。

今後、対馬暖流の勢力は強くなり気温も上昇するため、水温の上昇が予測されます。

調査定線	赤碕ライン（133° 40'）				長尾鼻ライン（134° 00'）				
水深帯	0m	30m	50m	90m	0m	30m	50m	90m	
2026年	16.4	15.2	14.8	14.0	16.0	14.9	14.5	13.2	(°C)
前年	16.2	14.8	14.4	13.9	15.4	14.5	14.4	13.8	
2011-25年	15.4	14.6	14.4	14.0	15.5	14.8	14.6	14.2	
平年差	1.0	0.6	0.4	0.0	0.5	0.1	-0.1	-1.0	

表2 赤碕及び長尾鼻ラインの5月平均水温

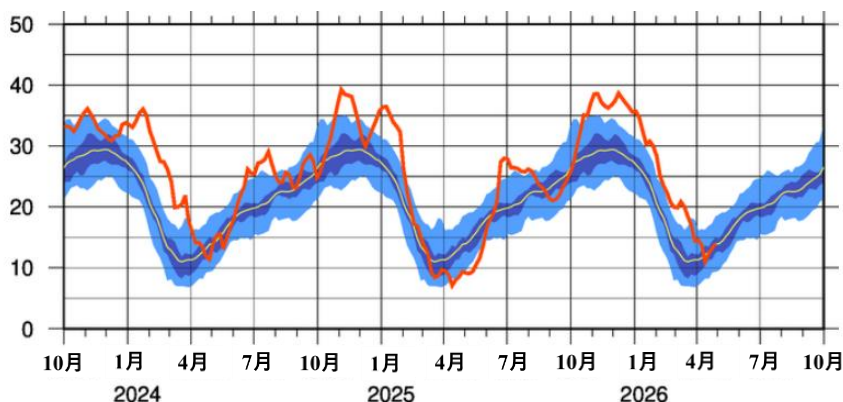


図3 対馬暖流の勢力図(気象庁HPより抜粋(一部改変))

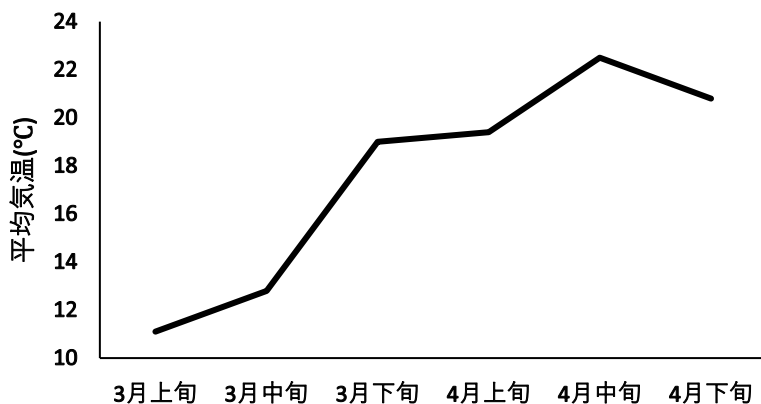


図4 鳥取県の2026年3月～4月の各旬の平均気温 (気象庁HPより作成)

< 参考 >

気象庁.“過去の気象データ検索”.気象庁.

https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/view/10daily_s1.php?prec_no=69&block_no=47746&year=2026&month=4&day=6&view=a2

,(参照2026-04-30)